

枚方市地域防災計画 新旧対照表 (案)

(総則・災害予防対策編 [総則])

理由欄の凡例

府：大阪府地域防災計画の修正に伴うもの

市：市独自の理由によるもの

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由																																												
第3章 災害の想定																																															
4	第1節 市域の概況																																														
4	<p>1 自然的環境 (1) 位置、面積及び地勢 …(中略)…</p> <p>【枚方市の人口、面積及び地勢】の表中 人口欄 <u>406,184</u>人 欄外 「平成<u>19</u>年版 枚方市統計書」</p>	<p>1 自然的環境 (1) 位置、面積及び地勢 …(中略)…</p> <p>【枚方市の人口、面積及び地勢】の表中 人口欄 <u>406,739</u>人 欄外 「平成<u>23</u>年版 枚方市統計書」</p>	市																																												
6	<p>(5) 気 象 本市の気候は瀬戸内式気候に属し、年平均気温は15℃前後で、これまでの最高気温は39.6℃ (1994.8.8 15時)、最低気温は-7.1℃ (1981.2.27 07時) が記録されている。 年間降水量は、平年値で <u>1395.8mm</u>、最大24時間降水量 (日降水量) 172mm (1999.8.11) である。降水量については、6月下旬の梅雨、台風期を含む秋雨期に集中する傾向がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">気 温</th> <th colspan="2">降 水 量</th> <th>日照時間</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年 値</th> <th>極 値</th> <th rowspan="2">年 間 [平年値]</th> <th rowspan="2">最大24 時間(日 降水量)</th> <th rowspan="2">年 間 [平年値]</th> </tr> <tr> <th>日最高</th> <th>日最低</th> <th>最高</th> <th>最低</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>℃ <u>19.8</u></td> <td>℃ <u>11.1</u></td> <td>℃ <u>15.2</u></td> <td></td> <td>Mm <u>1,395.8</u></td> <td>h <u>1,843.3</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：極値 (1977.3月～<u>2008.12月</u> (降水量のみ 1976.1月～<u>2008.12月</u>) : 枚方地域気象観測所) ：平年値 (<u>1979～2000</u> (日照時間のみ 1987～<u>2000</u>) : 枚方地域気象観測所)</p>	気 温			降 水 量		日照時間	年 値		極 値	年 間 [平年値]	最大24 時間(日 降水量)	年 間 [平年値]	日最高	日最低	最高	最低	℃ <u>19.8</u>	℃ <u>11.1</u>	℃ <u>15.2</u>		Mm <u>1,395.8</u>	h <u>1,843.3</u>	<p>(5) 気 象 本市の気候は瀬戸内式気候に属し、年平均気温は15℃前後で、これまでの最高気温は39.6℃ (1994.8.8 15時)、最低気温は-7.1℃ (1981.2.27 07時) が記録されている。 年間降水量は、平年値で <u>1342.8mm</u>、最大24時間降水量 (日降水量) 172mm (1999.8.11) である。降水量については、6月下旬の梅雨、台風期を含む秋雨期に集中する傾向がある。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="3">気 温</th> <th colspan="2">降 水 量</th> <th>日照時間</th> </tr> <tr> <th colspan="2">年 値</th> <th>極 値</th> <th rowspan="2">年 間 [平年値]</th> <th rowspan="2">最大24 時間(日 降水量)</th> <th rowspan="2">年 間 [平年値]</th> </tr> <tr> <th>日最高</th> <th>日最低</th> <th>最高</th> <th>最低</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>℃ <u>20.7</u></td> <td>℃ <u>11.3</u></td> <td>℃ <u>15.6</u></td> <td></td> <td>Mm <u>1,342.8</u></td> <td>h <u>1,856.4</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>資料：極値 (1977.3月～<u>2012.8月</u> (降水量のみ 1976.1月～<u>2012.8月</u>) : 枚方地域気象観測所) ：平年値 (<u>1981～2010</u> (日照時間のみ 1987～<u>2010</u>) : 枚方地域気象観測所)</p>	気 温			降 水 量		日照時間	年 値		極 値	年 間 [平年値]	最大24 時間(日 降水量)	年 間 [平年値]	日最高	日最低	最高	最低	℃ <u>20.7</u>	℃ <u>11.3</u>	℃ <u>15.6</u>		Mm <u>1,342.8</u>	h <u>1,856.4</u>	市
気 温			降 水 量		日照時間																																										
年 値		極 値	年 間 [平年値]	最大24 時間(日 降水量)	年 間 [平年値]																																										
日最高	日最低	最高				最低																																									
℃ <u>19.8</u>	℃ <u>11.1</u>	℃ <u>15.2</u>		Mm <u>1,395.8</u>	h <u>1,843.3</u>																																										
気 温			降 水 量		日照時間																																										
年 値		極 値	年 間 [平年値]	最大24 時間(日 降水量)	年 間 [平年値]																																										
日最高	日最低	最高				最低																																									
℃ <u>20.7</u>	℃ <u>11.3</u>	℃ <u>15.6</u>		Mm <u>1,342.8</u>	h <u>1,856.4</u>																																										

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由																																																
	2 社会的条件 (1) 人口 本市の人口は、平成 <u>17年</u> 国勢調査では <u>404,044人</u> で、近年になって微増の傾向となっている。	2 社会的条件 (1) 人口 本市の人口は、平成 <u>22年</u> 国勢調査では <u>407,978人</u> で、近年になって微増の傾向となっている。																																																	
8	第2節 地震被害の想定																																																		
10	2 地震発生の長期評価 …(中略)… これらの事項について、平成 <u>20年</u> 1月時点で	2 地震発生の長期評価 …(中略)… これらの事項について、平成 <u>24年</u> 1月時点で	市																																																
10	(1)活断層の長期評価の概要 <table border="1" data-bbox="248 635 1117 1369"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断層帯名</th> <th rowspan="2">長期評価で…</th> <th colspan="3">地震発生確率</th> <th rowspan="2">我が国の主な活断層</th> <th rowspan="2">平均活動間隔 (上段) と</th> </tr> <tr> <th>30年以内</th> <th>50年以内</th> <th>100年以内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有馬一高槻断層帯</td> <td></td> <td>ほぼ 0%~<u>0.02</u> %</td> <td>ほぼ 0%~<u>0.06</u> %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央構造線断層帯 (金剛山地東縁一和泉山脈南縁)</td> <td><u>8.0</u>程度</td> <td>ほぼ <u>0%~5%</u></td> <td>ほぼ <u>0%~9%</u></td> <td>ほぼ <u>0%~20%</u></td> <td></td> <td>約 <u>2000</u>年 ~<u>12000</u>年 <u>1~4</u>世紀</td> </tr> </tbody> </table>	断層帯名	長期評価で…	地震発生確率			我が国の主な活断層	平均活動間隔 (上段) と	30年以内	50年以内	100年以内	有馬一高槻断層帯		ほぼ 0%~ <u>0.02</u> %	ほぼ 0%~ <u>0.06</u> %				中央構造線断層帯 (金剛山地東縁一和泉山脈南縁)	<u>8.0</u> 程度	ほぼ <u>0%~5%</u>	ほぼ <u>0%~9%</u>	ほぼ <u>0%~20%</u>		約 <u>2000</u> 年 ~ <u>12000</u> 年 <u>1~4</u> 世紀	(1)活断層の長期評価の概要 <table border="1" data-bbox="1144 635 2013 1369"> <thead> <tr> <th rowspan="2">断層帯名</th> <th rowspan="2">長期評価で…</th> <th colspan="3">地震発生確率</th> <th rowspan="2">我が国の主な活断層</th> <th rowspan="2">平均活動間隔 (上段) と</th> </tr> <tr> <th>30年以内</th> <th>50年以内</th> <th>100年以内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有馬一高槻断層帯</td> <td></td> <td>ほぼ 0%~<u>0.03</u> %</td> <td>ほぼ 0%~<u>0.07</u> %</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中央構造線断層帯 (和泉山脈南縁)</td> <td><u>7.6~7.7</u>程度</td> <td><u>0.06%~14%</u></td> <td><u>0.1%~20%</u></td> <td><u>0.3%~40%</u></td> <td></td> <td>約 <u>1100</u>年 ~<u>2300</u>年 <u>7~9</u>世紀</td> </tr> </tbody> </table>	断層帯名	長期評価で…	地震発生確率			我が国の主な活断層	平均活動間隔 (上段) と	30年以内	50年以内	100年以内	有馬一高槻断層帯		ほぼ 0%~ <u>0.03</u> %	ほぼ 0%~ <u>0.07</u> %				中央構造線断層帯 (和泉山脈南縁)	<u>7.6~7.7</u> 程度	<u>0.06%~14%</u>	<u>0.1%~20%</u>	<u>0.3%~40%</u>		約 <u>1100</u> 年 ~ <u>2300</u> 年 <u>7~9</u> 世紀	市
断層帯名	長期評価で…			地震発生確率					我が国の主な活断層	平均活動間隔 (上段) と																																									
		30年以内	50年以内	100年以内																																															
有馬一高槻断層帯		ほぼ 0%~ <u>0.02</u> %	ほぼ 0%~ <u>0.06</u> %																																																
中央構造線断層帯 (金剛山地東縁一和泉山脈南縁)	<u>8.0</u> 程度	ほぼ <u>0%~5%</u>	ほぼ <u>0%~9%</u>	ほぼ <u>0%~20%</u>		約 <u>2000</u> 年 ~ <u>12000</u> 年 <u>1~4</u> 世紀																																													
断層帯名	長期評価で…	地震発生確率			我が国の主な活断層	平均活動間隔 (上段) と																																													
		30年以内	50年以内	100年以内																																															
有馬一高槻断層帯		ほぼ 0%~ <u>0.03</u> %	ほぼ 0%~ <u>0.07</u> %																																																
中央構造線断層帯 (和泉山脈南縁)	<u>7.6~7.7</u> 程度	<u>0.06%~14%</u>	<u>0.1%~20%</u>	<u>0.3%~40%</u>		約 <u>1100</u> 年 ~ <u>2300</u> 年 <u>7~9</u> 世紀																																													

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由																
10	(追加)	<p><u>(参考) 2011年東北地方太平洋沖地震発生直前における確率</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">領域または地震名</th> <th rowspan="2">発生した地震規模 (マグニチュード)</th> <th colspan="3">地震発生確率</th> <th>平均発生間隔</th> </tr> <tr> <th>10年以内</th> <th>30年以内</th> <th>50年以内</th> <th>最新発生時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東北地方太平洋沖地震</td> <td>9.0</td> <td>4%~6%</td> <td>10%~20%</td> <td>20%~30%</td> <td>600年程度 約500~600年前</td> </tr> </tbody> </table>	領域または地震名	発生した地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率			平均発生間隔	10年以内	30年以内	50年以内	最新発生時期	東北地方太平洋沖地震	9.0	4%~6%	10%~20%	20%~30%	600年程度 約500~600年前	市
領域または地震名	発生した地震規模 (マグニチュード)	地震発生確率			平均発生間隔														
		10年以内	30年以内	50年以内	最新発生時期														
東北地方太平洋沖地震	9.0	4%~6%	10%~20%	20%~30%	600年程度 約500~600年前														
10	<p>(2)海溝型地震の長期評価の概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>今後 30年以内の発生確率</td> <td>60%程度</td> <td>50%程度</td> </tr> <tr> <td>今後 50年以内の発生確率</td> <td>90%程度</td> <td>80%程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 評価時点は2009年1月1日現在</p>	今後 30年以内の発生確率	60%程度	50%程度	今後 50年以内の発生確率	90%程度	80%程度	<p>(2)海溝型地震の長期評価の概要</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>今後 30年以内の発生確率</td> <td>70%程度</td> <td>60%程度</td> </tr> <tr> <td>今後 50年以内の発生確率</td> <td>90%程度もしくはそれ以上</td> <td>90%程度</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 評価時点は2012年1月1日現在</p>	今後 30年以内の発生確率	70%程度	60%程度	今後 50年以内の発生確率	90%程度もしくはそれ以上	90%程度	市				
今後 30年以内の発生確率	60%程度	50%程度																	
今後 50年以内の発生確率	90%程度	80%程度																	
今後 30年以内の発生確率	70%程度	60%程度																	
今後 50年以内の発生確率	90%程度もしくはそれ以上	90%程度																	
第4章 防災ビジョン (構想)																			
14	第1節 災害からの教訓																		
14	<p>…(中略)… 最大震度7の大地震が阪神・淡路地域を直撃した。 この都市直下型の兵庫県南部地震は、…(中略)… 顕在化させることになった。 (追加)</p> <p><u>この兵庫県南部地震を教訓として、…(中略)…</u></p>	<p>…(中略)… 最大震度7の大地震が阪神・淡路地域を襲った。 この都市直下型の兵庫県南部地震は、…(中略)… 顕在化させることになった。 <u>また、平成23年3月11日午後2時46分、宮城県沖を震源としたマグニチュード9.0の観測史上最大の大地震が発生し、想定外の大津波により東日本の太平洋の沿岸各地は甚大な被害を受け、福島第一原子力発電所での事故も発生した。庁舎が津波に襲われた自治体では多数の職員が犠牲になり、行政機能を喪失して自ら復旧・復興活動を進めることが困難な状況となった。</u> <u>これらの震災を教訓として、…(中略)…</u></p>	市																

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由
14	<p><u>また、本市には影響がなかったものの、平成16年7月の新潟県、福井県で発生した豪雨では、河川の破堤等による浸水により死者が発生したが、その原因として、避難勧告発令の遅れや高齢者の逃げ遅れが指摘された。これを受けて、国は、災害時要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が、避難行動を開始する段階として「避難準備（災害時要援護者避難）情報」を避難勧告の前段階に新規導入することを提案した。</u></p> <p><u>本市においても、これを導入するものとし、避難準備（災害時要援護者避難）情報、避難勧告、避難指示の三類型で避難体制を確立するなど「大阪府版 避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」に基づき、地域の特性に応じた避難体制を整備する。</u></p> <p><u>(追加)</u></p>	<p><u>(削除)</u></p> <p><u>また、災害の発生を完全に防ぐことは不可能であることから災害時の被害を最小化する「減災」の考え方を防災の基本とし、たとえ被災したとしても人命が失われないことを最重視し、また経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせる必要があり、中長期的な視点から継続的に取組まなければならないものも多い。</u></p> <p><u>そこで、自然災害対策にあつては、その様々な災害リスクを市民に示した上で、防御施設の整備等を通じたハード対策で人命・財産を守ることを重視しつつ、ハード対策の水準を上回るような最大クラスの自然災害にあつては、住民の生命を守ることを最優先として、避難対策や住民への啓発等のソフト対策とハード対策を組み合わせる多重防御で対応することをその基本的考え方とする。</u></p>	府
第5章 防災関係機関の処理すべき事務又は業務の大綱			
19	第1節 市及び府		
19	<p>1 枚方市 各部共通</p> <ul style="list-style-type: none"> □所属職員の配置に関する事 □部内及び各部との連絡調整に関する事 □所管施設の被害調査及び応急復旧に関する事 □所管車両の緊急通行車両の届出に関する事 	<p>1 枚方市 各部共通</p> <ul style="list-style-type: none"> □所属職員の配置に関する事 □部内及び各部との連絡調整に関する事 □所管施設の被害調査及び応急復旧に関する事 □所管車両の緊急通行車両の届出に関する事 	市

頁	旧（現行）	新（修正後）	理由
19	<u>(追加)</u>	<u>(1) 行政改革部</u> 《災害予防対策》 <u>□防災に関する組織の整備に関すること</u> 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>□政策企画部の応援に関すること</u>	市
19	<u>(1) 市長公室</u> 《災害予防対策》 □災害通信伝達体制の整備に関すること 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>(追加)</u> □本部長、副本部長等の秘書に関すること (以下略) <u>(2) 市民安全部</u>	<u>(2) 政策企画部</u> 《災害予防対策》 □災害通信伝達体制の整備に関すること 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>□復興事業の企画調整に関すること</u> <u>□国、府に対する緊急要望に関すること</u> □本部長、副本部長等の秘書に関すること (以下略) <u>(3) 市民安全部</u>	市
20	<u>(3) 企画財政部</u> <u>《災害予防対策》</u> <u>□防災に関する組織の整備に関すること</u> <u>□災害対策の予算及び財政計画にかんすること</u> <u>□災害通信伝達体制の整備に関すること</u> <u>《災害応急対策・災害復旧対策編》</u> <u>□復興事業の企画調整に関すること</u> <u>□国、府に対する緊急要望に関すること</u> <u>□情報伝達手段の確保に関すること</u> <u>□災害対策関係予算その他財務に関すること</u>	<u>(削除)</u>	市
21	(5) 財務部 《災害予防対策》 <u>(追加)</u> □所管施設の防災対策に関すること □防災に関する物資及び資機材の整備に関すること 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>(追加)</u> □災害対策諸物資、救助諸物資等の調達に関すること (以下略)	(5) 財務部 《災害予防対策》 <u>□災害対策の予算及び財政計画に関すること</u> □所管施設の防災対策に関すること □防災に関する物資及び資機材の整備に関すること 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>□災害対策関係予算その他財務に関すること</u> □災害対策諸物資、救助諸物資等の調達に関すること (以下略)	市

頁	旧（現行）	新（修正後）	理由
22	<p>(7) 健康部</p> <p>《災害予防対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> □所管施設の防災対策に関する事 □所管福祉施設入所者の避難計画に関する事 □医療体制の整備計画に関する事 <u>□災害時要援護者の把握及び避難計画に関する事</u> <u>(追加)</u> <p>《災害応急対策・災害復旧対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> □医療救護及び助産に際し、医師会及び医療機関並びに保健所との連絡調整に関する事 □医薬用資機材等の調達・要請に関する事 <u>□災害時要援護者対策に関する事</u> □救急医療機関の情報把握に関する事 □救護所の設置に関する事 □救急体制の充実にに関する事 □所管施設の被害調査及び応急対策に関する事 □所管施設の入所・通所者の避難救助及び救護に関する事 <u>□避難所の災害時要援護者情報に関する事</u> □感染症・食中毒の予防に関する事 □<u>救急</u>医療対策会議の開催・運営に関する事 	<p>(7) 健康部</p> <p>《災害予防対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> □所管施設の防災対策に関する事 □所管福祉施設入所者の避難計画に関する事 □医療体制の整備計画に関する事 <u>(削除)</u> <u>□医薬品の備蓄に関する事。</u> <p>《災害応急対策・災害復旧対策》</p> <ul style="list-style-type: none"> □医療救護及び助産に際し、医師会及び医療機関並びに保健所との連絡調整に関する事 □医薬用資機材等の調達・要請に関する事 <u>(削除)</u> □救急医療機関の情報把握に関する事 □救護所の設置に関する事 □救急体制の充実にに関する事 □所管施設の被害調査及び応急対策に関する事 □所管施設の入所・通所者の避難救助及び救護に関する事 <u>(削除)</u> □感染症・食中毒の予防に関する事 □<u>災害</u>医療対策会議の開催・運営に関する事 	市
22	<p><u>(追加)</u></p>	<p><u>(9) 子ども青少年部</u></p> <p><u>《災害予防対策》</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>□所管施設の防災対策に関する事</u> <u>□粉乳及びびほ乳ビンの備蓄に関する事</u> <p><u>《災害応急対策・災害復旧対策》</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>□所管施設の被害調査及び応急対策に関する事</u> <u>□所管施設の入所・通所者の避難救助及び救護に関する事</u> <u>□応急保育計画に関する事</u> <u>□留守家庭児童会室に関する事</u> 	市

頁	旧（現行）	新（修正後）	理由
2 2	(9) 環境保全部 (10) 環境事業部 (11) 都市整備部	(10) 環境保全部 (11) 環境事業部 (12) 都市整備部	市
2 4	(12) 土木部 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>(追加)</u>	(13) 土木部 《災害応急対策・災害復旧対策》 <u>□土砂災害危険箇所に係る災害対策に関すること</u>	市
2 4	(13)下水道部 <u>《災害予防対策》</u> <u>□所管施設の防災対策に関すること</u> <u>□下水道施設の耐震化計画に関すること</u> <u>□浸水予防対策に関すること</u> <u>□緊急通行車両の事前届出に関すること</u> <u>《災害応急対策：災害復旧対策》</u> <u>□水防活動に関すること</u> <u>□下水道施設、河川、水路等の被害調査及び応急復旧に関すること</u> <u>□浸水対策に関すること</u> <u>□排水ポンプ場の運転に関すること</u> <u>□土砂災害危険箇所に係る災害対策に関すること</u> <u>□下水道施設の二次被害の防止に関すること</u> <u>□下水道関係資機材の調達・要請に関すること</u>	(削除)	市
2 5	(16) 水道局 《災害予防対策》 □所管施設の防災対策に関すること □水道施設の耐震化事業に関すること □ <u>局</u> 内の人員体制及び財政計画に関すること (以下略)	(16) <u>上下</u> 水道局水道部 《災害予防対策》 □所管施設の防災対策に関すること □水道施設の耐震化事業に関すること □ <u>部</u> 内の人員体制及び財政計画に関すること (以下略)	市

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由
25	(追加)	<u>(17) 上下水道局下水道部</u> <u>《災害予防対策》</u> <input type="checkbox"/> <u>所管施設の防災対策に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>下水道施設の耐震化計画に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>浸水予防対策に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>緊急通行車両の事前届出に関すること</u> <u>《災害応急対策・災害復旧対策》</u> <input type="checkbox"/> <u>水防活動に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>下水道施設、河川、水路等の被害調査及び応急復旧に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>浸水対策に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>排水ポンプ場の運転に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>下水道施設の二次災害の防止に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>下水道関係資機材の調達・要請に関すること</u>	市
25	<u>(17) 市民病院</u> <u>(18) 教育委員会</u> …(中略)… <input type="checkbox"/> <u>留守家庭児童会室に関すること</u> <u>(19) 市議会事務局</u> 《災害応急対策・災害復旧対策》 <input type="checkbox"/> <u>議員との連絡調整に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>災害見舞いの応援及び事務処理に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>市長公室の応援に関すること</u> <u>(20) 選挙管理委員会事務局</u> <u>(21) 監査委員事務局</u> <u>(22) 農業委員会事務局</u>	<u>(18) 市民病院</u> <u>(19) 教育委員会</u> …(中略)… <u>(削除)</u> <u>(20) 市議会事務局</u> 《災害応急対策・災害復旧対策》 <input type="checkbox"/> <u>議員との連絡調整に関すること</u> <u>(削除)</u> <input type="checkbox"/> <u>政策企画部の応援に関すること</u> <u>(21) 選挙管理委員会事務局</u> <u>(22) 監査委員事務局</u> <u>(23) 農業委員会事務局</u>	市
27	5 大阪府警察 (枚方警察署)	5 大阪府警察 (枚方・ <u>交野</u> 警察署)	市
28	第4節 指定公共機関及び指定地方公共機関等		
29	(追加)	<u>5 西日本高速道路株式会社 (関西支社)</u> <input type="checkbox"/> <u>管理道路の整備と防災管理に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>道路施設の応急点検体制の整備に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>災害時における交通規制及び輸送の確保に関すること</u> <input type="checkbox"/> <u>被災道路の復旧事業の推進に関すること</u>	市

頁	旧 (現行)	新 (修正後)	理由
29	<u>5</u> 大阪ガス株式会社 (導管事業部北東部導管部) <u>6</u> 日本通運株式会社 (<u>枚方営業所</u>) <u>7</u> 関西電力株式会社 (枚方営業所) <u>8</u> 京阪電気鉄道株式会社 <u>9</u> 京阪バス株式会社	<u>6</u> 大阪ガス株式会社 (導管事業部北東部導管部) <u>7</u> 日本通運株式会社 (<u>大阪東支店</u>) <u>8</u> 関西電力株式会社 (枚方営業所) <u>9</u> 京阪電気鉄道株式会社 <u>10</u> 京阪バス株式会社	市
30	<u>10</u> <u>枚方市</u> 土地改良区 <u>11</u> 淀川左岸水防事務組合 <u>12</u> 株式会社エフエムひらかた <u>13</u> 株式会社ケイ・キャット	<u>11</u> <u>山田池</u> 土地改良区 <u>12</u> 淀川左岸水防事務組合 <u>13</u> 株式会社エフエムひらかた <u>14</u> 株式会社ケイ・キャット	市